

No.68

領域：	グローバル、ビジネス		
テーマ：	グローバリゼーションのなかでの日本の企業		
担当者名：	広渡 潔		
開講時期：	2017年度 後期 金曜 4・5・6限	募集定員：	30名
内容：	グローバリゼーションのなかでの日本の企業をめぐる現状と課題を探求し、分析していく。特に商社、金融、製造業、航空などを対象に、その業界が直面する課題を整理し、さらには個別企業の戦略を分析していく。		
到達目標：	多くの文献、データ、資料、ヒアリングなどの分析を通じて、業界、企業分析を深め、業界、企業の直面する課題について自分なりの考えを整理していく。		
講義方法：	外部講師の特別講義の聴講に加え、学生主体のゼミナール形式（発表と discussion）と個別課題についての supervision（レポート作成にむけての個別指導）を組み合わせながら行う。		
準備学習：	特になし。		
成績評価：	講義毎の個別課題の提出、外部講師の特別講義への参加姿勢、Group Discussion への貢献などを基にした平常点と、企業分析に関する最終レポート（4000字程度）とプレゼンテーションなどの評価を加味して行う。前者のウェイトが40%、後者のウェイトが60%。		
欠席基準：	授業実施回数の3分の1（端数は切り捨て）以上を欠席した場合は、単位を修得することができない。（「欠席」評価となる。）		
講義構成：	前半：外部講師による企業分析の手法、職種、業界動向などの講義を基に、企業分析の方法論を固めていく。 中盤：企業分析に関する資料収集とその要約 後半：レポート作成とプレゼンテーション		
履修条件：	特になし		
推奨科目：	特になし		
選考方法：	募集人員を超えた場合は抽選		
備考：			
説明会：	特に行わないが、照会のある方は適宜メールなどを通じて面談のアポをとること		